

平成27年度 事業実績報告書

平成28年5月

社会福祉法人

早島町社会福祉協議会

目 次

◆早島町社会福祉協議会 平成27年度事業総括 (P.1~5)

▶基本理念 (P.1)

▶経営理念 (P.1)

▶基本姿勢 (P.1)

▶社協・事務局重点項目 (重点目標) 及び達成度 (P.2)

▶介護事業部 セクション別重点項目 (重点目標) 及び達成度 (P.3~5)

◆平成27年度事業実績 (P.6~31)

▶活動内容 (P.6~)

I. 会務の運営

1. 役職員による法人運営 (P.6~)

- (1) 理事会・監事会・評議員会の開催 (2) 役員の先進地視察研修の実施

II. 地域福祉事業

1. 広報事業活動 (P.9)

- (1) 社協だよりの発行 (2) 早島の匠ミニギャラリー
(3) ホームページの改定^新 (4) 福祉のまちづくりフォーラムの開催^新

2. 会費・寄付・募金 (P.11~)

- (1) 住民会員・会費の募集 (2) 一般寄付等の受納
(3) 共同募金運動 (赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金) の推進

3. 住民参画型在宅福祉サービスの検討 (P.12~)

- (1) 外出支援サービスの実施検討^新
(2) 生活支援活動の実施検討^新

4. 福祉活動員活動の支援 (P.13~)

- (1) 福祉活動員協議会活動の支援

5. 地区福祉活動の推進 (P.14~)

- (1) 高齢者給食サービス活動の推進
(2) ふれあい・いきいきサロン活動の推進

- (3) 夏季一斉友愛訪問活動の実施
- (4) 年末大掃除おたすけサービスの実施
- (5) 地区福祉活動の支援

6. 福祉啓発（教育）の推進（P.17～）

- (1) 夏のボランティア体験事業の実施
- (2) 福祉教育への協力支援
- (3) コミュニケーション麻雀の普及推進
- (4) 障がい者作品展の開催
- (5) 福祉映画会の開催

7. ボランティア活動の推進（P.20～）

- (1) ボランティア活動保険の斡旋
- (2) 福祉ボランティアグループ活動の支援
- (3) ボランティア活動に関する相談・調整

8. 福祉団体活動の支援（P.22）

- (1) 福祉当事者団体
- (2) 福祉団体活動の支援

9. 在宅介護支援事業（P.22～）

- (1) 介護職員初任者研修の開催
- (2) 介護用具貸出サービスの実施

10. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助（P.24）

- (1) 生活福祉資金貸付事業の実施
- (2) 日常生活自立支援事業の実施

11. 地域福祉センターの運営管理（P.25）

- (1) 施設の利用促進
- (2) 備品・用具貸出

Ⅲ. 介護サービス事業

1. 居宅介護支援事業（P.25～）

- (1) 居宅介護支援事業の実施

2. 通所介護事業（P.26～）

- (1) 通所介護事業の実施
- (2) 介護予防通所介護の実施
- (3) ボランティア協力（受入）の実施

3. 訪問介護事業 (P.29~)

- (1) 訪問介護事業の実施
- (2) 介護予防訪問介護の実施
- (3) 障がい者総合支援 (居宅介護) 事業の実施
- (4) 障がい者移動支援 (外出支援) 事業の実施
- (5) 生活支援訪問事業の実施
- (6) 介護保険外サービス事業の実施

▶補足／各種地域福祉事業の財源

1. 共同募金

◇一般配分金

- ❖社協だより発行 (P.9)
- ❖福祉活動員協議会活動の支援 (P.13)
- ❖夏のボランティア体験事業 (P.17)
- ❖福祉ボランティアグループ活動支援 (P.20)

◇特別配分金

- ❖地区福祉活動の支援 (P.17)

◇歳末たすけあい配分金

- ❖社協だより発行 (P.9)
- ❖ふれあい・いきいきサロン活動の推進 (P.15)
- ❖夏季一斉友愛訪問活動 (P.16)
- ❖年末大掃除おたすけサービス (P.17)
- ❖福祉映画会の開催 (P.20)
- ❖障がい者作品展の開催 (P.19)
- ❖福祉当事者団体活動の支援 (P.22)

2. ほほえみ基金

- ❖社協だより発行 (P.9)
- ❖早島の匠・ミニギャラリー (P.10)
- ❖福祉活動員協議会活動の支援 (P.13)
- ❖ふれあい・いきいきサロン活動の推進 (P.15)
- ❖福祉当事者団体活動の支援 (P.22)

3. 地域福祉活動基金

- ❖福祉のまちづくりフォーラムの開催^新 (P.11)

早島町社会福祉協議会 平成27年度事業総括

▶本会の基本理念

お互いが支えあい 安心して 幸せに暮らせる 住みよい地域をつくります

▶本会の経営理念

本会役職員は、基本理念に則り地域福祉事業の推進と介護保険事業の充実・発展を図るとともに、安定した法人運営に心がけてまいります。

▶本会の基本姿勢

地域福祉事業では、地域福祉を進めていく上での羅針盤、「地域福祉活動計画」を2ヶ年という期間をかけ、多くの方々のご意見を賜わりながら策定することができました。

この地域福祉活動計画の実施期間である5年間に地域における生活支援事業を推進していく初年度となります平成27年度には、制度の狭間で外出がしたくてもできない高齢者や障がい者の方の外出を支援するサービス等を提供してまいりますに致しております。

また、介護保険事業では、平成27年度に介護保険法が改正され、9年ぶりに介護報酬が大幅に減額されるなど、介護保険事業を取り巻く環境が益々厳しさを増してきておりますが、法改正の趣旨を十分理解し、新たに始まる第6期の介護保険制度に対応すべく、利用者本位に立った良質で特色のある介護サービスの提供に心がけて参りますと共に、職員一人ひとりが効率的な予算執行と経営感覚を養って、厳しい環境のなかにあっても安定的な法人運営に心がけてまいります。

(平成27年度事業計画書より抜粋)

■ 社協・事務局重点項目（重点目標）及び達成度

事務局重点項目（重点目標）	達成度
<p>1) 地域福祉活動計画に基づく福祉活動・事業の推進 初年度事業として、制度の狭間を埋める住民協働の生活支援活動の検討やボランティア登録制度の整備、福祉情報の発信強化等に努める。</p> <p>また、早島町役場（健康福祉課）が見直しを進める行政計画（地域福祉計画）の策定へ参画し、本活動計画内容の推進への後方支援を働きかける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゴミ出し」及び「福祉車両による移動支援」の活動検討と試行を実施。町シルバー人材センター会員や住民運転ボランティアの協力を得て、地区又は町域のゴミ出し支援活動の具体化と福祉有償運送事業化を達成した。 ・町民への同計画周知と進捗状況報告を目的としたフォーラムを合計2回開催。また、地域や福祉団体へ出向き、同計画内容の周知を行い、福祉活動への理解や参画を求めた。 ・行政計画（地域福祉計画）策定委員会へ参画。年間を通じ計画作成に関わり、町内の地域福祉推進の中心的な担い手として、本活動計画に沿った本会の役割が明確に位置づけられた。(A)
<p>2) 人事管理制度・人事評価（考課）制度の改善運用 平成27年度以降の本格的な制度運用に向け、2カ年の試行期間の課題として挙げた職務・職責基準の明確化や全職員の目標設定のあり方等の再考と、それに基づく実施要綱の見直しを行い、職員の人材育成を主眼としつつ、職員個々の努力や成果を評価できる制度へ向けた改善運用を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング会社の協力助言を得ながら、各部署及び職種別の職務基準書を作成。各業務の可視化と標準化、現状課題分析を行うための根拠資料が完成した。 ・同社の協力助言を得ながら、引き続き、考課者研修と評価調整会議の複数回に渡る作業において、実評価の考え方や視点、基準等の標準化に努めた。全職員への制度趣旨の再説明と目標管理シートの導入、目標に沿った日常的な指導や考課者から面接を通じた職員育成と、評価結果の実運用化を行った。(A)

< 達成度基準 >

S：目標をはるかに上回る（120%以上）

A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満）

B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満）

C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）

D：目標をかなり下回る（80%未満）

■介護事業部 セクション別重点項目（重点目標）及び達成度

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
居宅介護支援	<p>1) 地域福祉を意識した事業参画とケアマネジメント</p> <p>事務局が行う制度の狭間を埋める住民協働の生活支援活動の立案へ積極的に参画する。</p> <p>また、介護保険制度上のサービスや福祉制度のみならず、利用者の生活支援や生きがいづくり、社会参加の促進に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民協働の生活支援活動について、年間を通じ、本事業所利用者に対する「ゴミ出し」及び「福祉車両による移動支援」の試行利用の促しや活動検討へ参画。現場ニーズの吸い上げと仲介により住民サービス体制検討の具体化に貢献した。 ・サロン活動行事への協力や民生委員及び福祉活動員との意見交換、交流行事へ参画。個別ケース援助に係る関係者との主体的な情報共有が活発化した。また、福祉ボランティア活動を社会資源とし、新たに利用者の参加誘導を図れた。（A）
	<p>2) ケアマネジメント業務の改善と職員の資質向上</p> <p>共通業務の標準化を中心に、引き続き事務効率化を図り、利用者援助に係る時間の確保に努める。</p> <p>また、介護支援専門員間の援助方法に係る情報共有や事例検討の実施、職場外での専門研修機会の確保に努め、介護支援専門員の資質向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者への各種報告・届出業務やマイナンバー制度の窓口運用開始に伴う取扱いや様式作成等を行い、共通業務の標準化に務めたが、記録内容の標準化は次年度検討となった。 ・介護支援専門員間の利用者及びサービス提供に係る伝達情報共有のあり方を再検討し、記録様式を整備。また、厚生労働省の推奨する「課題分析総括表」を活用した内部事例検討を開始。年度末の利用者アンケートでも高評価を得た。（B）
	<p><運営状況総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度比で、新規契約件数が9件増加の78件。契約解除件数も同様に6件増え60件。結果、月平均請求件数は10件増加し200件であった。 ・契約解除件数は、前年度より6件増の60件。内31件が永眠、20件が入所。他は軽度化（要支援）と転出等。 ・年度当初から特定事業所加算分（4,000円/件）が算定されたことで、前年度に比べ大幅な増収となった。 <p>∴平成27年度収支差引額：6,492千円（平成26年度収支差引額：▲2,519千円）</p>	

<達成度基準>

S：目標をはるかに上回る（120%以上）

C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）

A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満）

D：目標をかなり下回る（80%未満）

B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満）

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
デイサービスセンター	<p>1) 利用者の満足度を向上と安定した運営 介護報酬の改正に伴う減収率を最小限に抑える為認知症加算の算定が出来るように、27年度中に必要な資格を習得すると共に、加算算定開始時から、適切な認知症ケアが提供できるよう職員の研修や勉強会を実施して、技術や知識を深める。 また、新規顧客確保につながるよう、職員が新たなサービスを企画し実践してゆく事で安定した運営を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症介護実践者研修には2名が参加し修了資格を取得。また、研修修了者から研修で学んだ事を職場内で伝達や指導助言をし知識の向上に取り組めた。 介護報酬減額に伴う減収幅を減らす為、定員を40名に増やし、当初予算より収入を上げることが出来た。 ・新しい企画について、職員一人ひとりが年間を通じて実践。定期的な買い物やアロママッサージ、おやつの見直しは利用者から好評を得た。また、今年度新たに発行したデイサービスのPR用新聞を他事業所の広報誌と比較し、当事業所の利用を決めたというケースがあった。(A)
	<p>2) 職員の資質向上 職場内研修の実施や対応マニュアルの整備を行ない、職員のコミュニケーション能力を上げる事で、気持ちよく、安心して使っていただけるデイサービスを目指す。併せて職員一人ひとりが決めた目標の達成に取り組むことで、資質の底上げを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族とのコミュニケーションで特に配慮が必要な内容についてはその都度ミーティング等で確認し、次に同じことが発生した場合、誰もが同じ対応が出来るよう共有に努めた。また、接遇についても年間を通じて月間目標を設定し全員で取り組んだ。年度末の利用者アンケートでは、前年度に比較し、「人によって違う」という回答率が減少した。(C)
	<p><運営状況総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護と予防をあわせた1日あたりの平均利用者数は29.9人（前年度比+0.6人）。 ・8月～定員を40名に増やし、登録者数を増やした結果、10月から利用者数が増え、介護報酬改定に伴う減収見込み幅を減らすことが出来た。 <p>∴平成27年度収支差引額：9,336千円（平成26年度収支差引額：10,838千円）</p>	

<達成度基準>

S：目標をはるかに上回る（120%以上）

C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）

A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満）

D：目標をかなり下回る（80%未満）

B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満）

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
ホームヘルパーステーション	1) 専門性を生かしたサービスの提供 利用者の心身の特性を踏まえ、より良いサービスを提供すると共に、ご家族にも専門性を生かした情報の提供を行う。 また、地域性を活かし、関係機関との綿密な連携をとり極め細やかなサービスを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約9割が町内の方で、また、介護支援専門員も社協の職員が8割以上を占めている利点を活かし、ご本人やご家族、介護支援専門員との綿密な連携が取れ、その方にとって一番良いと思われる支援を常に話し合いを持ちながら迅速な対応を図った。（B）
	2) 人材の確保・育成・稼働率のアップ 利用者のニーズに柔軟に応えられるよう登録ヘルパーを確保する。 事務処理の効率化の再検討を行い、常勤職員の稼働率も上げる。 増え続けている認知症の方の的確に対応できるよう、内部・外部の研修に参加し、正しい理解と知識を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 今年度のヘルパーの確保が一人のみと言う結果になり厳しい状況が続いています。今後も利用が増えると予想される為、確保に向けた取り組みを引き続き行う。 常勤職員の訪問時間が増加したが、事務処理が効率よく行うことができず、目標の到達に至らなかった。 昨年に続き、認知症の利用者が多く、外部や内部研修にも参加したものの一人ひとりの対応が難しく戸惑いがあった。引き続き、次年度以降も訪問介護員の質の向上に努める。（C）
	〈運営状況総括〉 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年比で要介護者の新規利用者が7件の増、延べ利用者数が85人の増、訪問回数1,480回の増という結果になった。しかし、長期入院、入所、永眠による中止の利用者も17人あった。 ・障がい者総合支援の減収は、介護報酬の改定による減収と介護保険への移行によるものだった。 ・介護保険外サービス事業では昨年と同じく定期的な利用があった。 ∴平成27年度収支差引額：27千円（平成26年度収支差引額：▲53千円）	

<達成度基準>

S：目標をはるかに上回る（120%以上）

C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）

A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満）

D：目標をかなり下回る（80%未満）

B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満）

◆平成27年度事業実績

I. 会務の運営

1. 役職員による法人運営

〔1〕理事会・監事会・評議員会

(1) 要件

- ・地域福祉の推進を目的に、本会の定款に基づき、理事会5回、監事会1回、評議員会4回を開催した。
- ・本会の事業計画および予算、事業報告及び決算報告、諸規程の制定及び改廃等の本会の運営において重要な案件について協議した。

(2) 実施結果

◇理事会

開催日／出席数	決議事項
平成27年 5月27日(水) ／理事8名(9名) ／書面決議書提出者1名 ／監事1名(2名)	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員の補充選任について ◇平成26年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会事業実績報告について ◇平成26年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計収支決算報告について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉のまちづくりフォーラムについて ・夏のボランティア体験事業について ・介護職員初任者研修について ・基金の運用について
平成27年 8月17日(月) ／理事8名(9名) ／書面決議書提出者1名 ／監事2名(2名)	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員の補充選任について ◇平成27年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第1次補正予算(案)について ◇早島町デイサービスセンター運営規定の改正について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・早島町デイサービスセンター運営規定の改正について ・早島町ホームヘルプステーション運営規定の改正について ・夏のボランティア体験事業について ・介護職員初任者研修について

<p>平成27年12月21日(月) /理事9名(10名) /書面決議書提出者1名 /監事2名(2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会定款の変更について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会福祉有償電送事業運営規程について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会特定個人辞等の適性な取扱いの確呆に関する基本方針の制定について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会特定個人辞等の取扱いの規程の制定について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規定について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部を改正する規則について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会登録ヘルパー就業規則の一部を改正する規則について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員の懲戒処分に関する基準の一部を改正する基準について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会感謝状贈呈要領の一部を改正する要領について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第2次補正予算(案)について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修実施結果について ・住民福祉活動先進地視察研修実施結果について ・共同募金運動の実施状況について ・歳末たすけあい事業の実施状況について ・基金の運用について
<p>平成28年 1月18日(月) /理事10名(10名) /監事2名(2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会会長の選任について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの改訂について ・感謝状の贈呈について(改正要領による該当団体等)
<p>平成28年 3月22日(火) /理事10名(10名) /監事 2名(2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会第三者委員の選考について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会広告掲載取扱要綱の制定について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について ◇平成27年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第3次補正予算(案)について ◇平成28年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会事業計画(案)について ◇平成28年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会当初予算(案)について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉有償電送事業運転者の対面に関する基準について ・共同募金実績報告について ・福祉映画会について ・福祉のまちづくりフォーラムについて ・基金の状況について

◇監事会

- ・開催日：平成27年5月20日（水）／監事2名出席
- ・内容：平成26年度事業実績状況（報告書）及び決算（書）及び諸帳票の監査
※指摘事項は、特になし

◇評議員会

開催日／出席数	決議事項
平成27年 5月28日（木） ／評議員15名（21名） ／監事2名（2名）	<ul style="list-style-type: none"> ◇平成26年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会事業実績報告について ◇平成26年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計収支決算報告について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉のまちづくりフォーラムについて ・夏のボランティア体験事業について ・介護職員初任者研修について
平成27年 8月18日（火） ／13名（21名）	<ul style="list-style-type: none"> ◇平成27年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第1次補正予算（案）について ◇早島町デイサービスセンター運営規程の改正について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・早島町デイサービスセンター運営規程の改正について ・早島町ホームヘルプステーション運営規程の改正について ・夏のボランティア体験事業について ・介護職員初任者研修について
平成27年12月22日（火） ／14名（21名）	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会定款の変更について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会福祉有償運送事業運営規程の制定について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会特定個人情報等の適性な取扱いの確保に関する基本方針の制定について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会特定個人情報等の取扱い規程の制定について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部を改正する規則について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会登録ヘルパー就業規則の一部を改正する規則について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員の懲戒処分に関する基準の一部を改正する基準について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会感謝状贈呈要領の一部を改正する要領について ◇平成27年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第2次補正予算（案）について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修実施結果について ・住民福祉活動先進地視察研修実施結果について ・共同募金運動の実施状況について ・歳末たすけあい事情の実施状況について ・募金の運用について

平成28年 3月25日(金) /15名(21名)	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会広告募集要綱の制定について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について ◇平成27年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第3次補正予算(案)について ◇平成28年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会事業計画(案)について ◇平成28年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計当初予算(案)について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員について ・福祉有償運送事業乗降者の対応に関する基準について ・共同募金実績報告について ・福祉映画会について ・福祉のまちづくりフォーラムについて ・基金の状況について
-----------------------------	---

〔2〕 役員先進地視察研修

(1) 要件

- ・他市町村の住民主体の地区福祉活動先進地を視察し、本町における地区福祉活動のあり方を検討する機会とするため、住民福祉関係者と合同で先進地社協(広島県福山市)へ視察研修を行った。

(2) 実施結果

視察日程/参加者	視察先/主な研修項目
平成27年11月13日(金) [参加者] <ul style="list-style-type: none"> ・理事：3名 ・監事：2名 ・評議員：8名 ・その他：51名 合計：64名	広島県福山市 常金丸学区福祉を高める会の活動について (困りごと支援事業「えがおネット」等)

II. 地域福祉事業

1. 広報事業活動

〔1〕 社協だより発行

(1) 要件

- ・町民に対する社協活動や住民福祉活動等の情報提供手段として、広報誌「はやしま社協だより」を年4回発行。

(2) 発行実績

- ◇第97号(夏号) 平成27年6月下旬発行(5,000部)
- ◇第98号(秋号) 平成27年10月下旬発行(5,000部)
- ◇第99号(新春号) 平成27年12月下旬発行(5,000部)

◇第100号（春号）平成28年 3月下旬発行（5,000部）

〔2〕早島の匠ミニギャラリー

（1）要件

- ・地域福祉センターオアシス早島1階ロビーを活用し、町内住民やグループによるミニ二作品展を開催し、一般住民の来館促進を図り、センター機能の周知を行う。

（2）開催実績

◇個人

ジャンル	テーマ	作者（出展者）	作品展示期間
絵画	書・水彩画他	安部 寿子	平成27年 5月 1日～ 6月 1日
写真	山川池親水公園	北山 孝	平成28年 3月 7日～ 4月 1日

◇団体

萌の会	平成27年 7月15日～ 8月19日
障がい者作品展	平成27年12月 1日～12月17日
舟本自治会コミュニケーションクラブ	平成28年 2月 8日～ 2月29日

〔3〕ホームページの改定新

（1）要件

- ・地域福祉活動計画（ほっとプラン）に基づき、町内の福祉活動や本会の事業活動をリアルタイムに発信するため、本会ホームページの改定を行う。
- ・内部での情報更新の仕組みを見直し、更新しやすいプログラム導入と役割分担により円滑な情報発信体制を構築する。実際のリニューアルは、次年度4月となる。

（2）実施結果

開催日	主な内容事項
平成27年 8月 3日（月）	◇プロポーザル方式による委託業者選定 ・委託業者への指名競争参加要請
平成27年 9月 2日（水）	◇指名業者による企画提案審査会の開催 ・本会審査員による企画提案審査と契約候補者の選定
平成27年10月～	◇サイトマップ構成案の作成
平成27年12月22日（火）	◇理事会・評議員会での補正予算の審議 ・委託業務費用の追加承認
平成28年 2月12日（金）	◇ホームページ更新プログラム操作研修会 ・本会更新担当者への操作説明と役割分担の共有
平成28年 2月～3月	◇ホームページ各頁の作成

〔4〕福祉のまちづくりフォーラムの開催新

(1) 要件

- ・地域住民や福祉関係団体・機関への地域福祉活動計画（ほっとプラン）内容の周知や活動参画を求めることを目的に、計画説明や関連テーマの講演会を行う。

(2) 実施結果

開催日	主な内容事項
平成27年 6月 5日(金)	◇計画発表【第1部】 『みんなで進める ‘はやしまほっとプラン’ 』 ・早島町地域福祉活動計画策定委員会委員長 寺山 節子 氏 ・早島町社会福祉協議会事務局 ・岡山県社会福祉協議会 地域福祉培陽部部長 吉田 光臣 氏 ◇基調講演【第2部】 『支え合いのまちづくりに向けて』 ～「はやしま ほっとプラン」の読み方～ ・ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏
平成28年 3月 1日(火)	◇感謝状贈呈式【第1部】 ○個人表彰(6名) ○団体表彰(36団体) ◇フォーラム【第2部】 ○計画進捗状況報告 『‘はやしまほっとプラン’ 進行中!』 ・早島町社会福祉協議会事務局 ○基調講演『ボランティア活動の今』 ・関西福祉大学社会福祉学部長 平松 正臣 教授

2. 会費・寄付・募金

〔1〕住民会員・会費の募集

(1) 要件

- ・社会福祉に関心を有し、本会の趣旨に賛同した個人又は団体等の会員を募るものである。本年度の結果は下記のとおりとなった。

(2) 実施結果

区 分	会員数	□ 数	金 額
賛助会費・団体	33件	1□	66,000円
合 計	33人	1□	66,000円

〔2〕一般寄付等の受納

(1) 要件

- ・一般寄付・満中陰志を受納し、ほほえみ基金事業の原資として基金積立てを行った。

(2) 寄付金実績

区 分	件 数	金 額
一般寄付	11件	172,444円
満中陰志	21件	775,000円
合 計	32件	947,444円

〔3〕共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）の推進

（※岡山県共同募金会早島町共同募金委員会事務）

（1）要件

- ・地域福祉の推進を目的に、募金活動を通じて、「思いやりの心」を掘り起こすとともに、共同募金の適正かつ効果的な助成を行う。「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに、共同募金の役割や使い道の周知を図り、多くの地域住民の方々の理解や参加を促すため街頭募金活動やイベント行事等を実施した。

（2）実施結果

①赤い羽根共同募金実績：1,673,548円（前年度比：123,672円増）

募金種別	募金額内訳
戸別募金	1,089,478円
街頭募金	10,776円
学校募金	32,424円
個人募金	52,500円
法人募金	306,896円
イベント募金	32,200円
職域募金	116,955円
その他の募金	32,226円
通帳利息	93円

②歳末たすけあい募金実績：1,023,507円（前年度比：53,207円増）

募金種別	募金額
戸別募金	985,979円
個人募金	7,500円
その他の募金	30,000円
通帳利息	28円

③共同募金運動推進活動

<街頭募金活動>

- ・平成27年 9月18日（金）／早島中学校（募金実績8,901円）
 - ・平成27年10月 1日（木）／早島駅前（募金実績3,755円）
 - ・平成27年11月 1日（日）／早島町中央公民館（募金実績7,021円）
- ※早島中学校街頭募金は、上記（2）では学校募金へ計上。

<イベント募金活動（いきいき広場）>

- ・平成27年11月 1日（日）／早島町中央公民館（募金実績32,200円）

3. 住民参画型在宅福祉サービスの検討^①

〔1〕外出支援サービスの実施検討・試行^①

（1）要件

- ・地域福祉活動計画（ほっとプラン）に基づき、昨年度末から開始した町内の高齢者や障がい者の社会参加の促進を目的とした外出支援活動の検討を継続して行う。
- ・24時間TV寄贈福祉車両を活用し、本会介護支援専門員が担当する車イス利用者等の移動サービスの試行活動を実施。

- ・ 運転ボランティア団体の組織化検討に伴うサロン送迎活動の試行を平成28年1月から開始する。

(2) 外出支援活動検討会の開催

開催日	主な検討事項
平成27年 4月14日(火)	・ 試行運行状況と試行運行上の留意点の確認等
平成27年 6月26日(金)	・ 福祉有償電送事業に関する研修と意見交換等(外音階市)
平成27年10月15日(木)	・ 町内タクシー業者及び町健康福祉課との意見交換等
平成27年11月 9日(月)	・ 福祉有償電送事業の概要と運転ボランティアに関する協議
平成27年12月16日(水)	・ 福祉有償電送事業登録手続き状況と要綱案の協議等
平成28年 1月12日(火)	・ 運転ボランティア団体会則とサロン送迎活動に関する協議
平成28年 2月 9日(火)	・ 福祉有償電送事業運行に係る登録運転手の諸条件等
平成28年 3月 8日(火)	・ 福祉有償電送事業運行開始に係る準備詳細検討

(3) 福祉車両による移動サービス試行活動実績(平成27年3月分試行活動件数を除く)

- 実利用者数 23名
- 延べ運行回数 85回

〔2〕生活支援活動の実施検討(新)

(1) 要件

- ・ 地域福祉活動計画(ほっとプラン)に基づき、町域での「ゴミ出し」について、町シルバー人材センター会員の協力を得て、有償活動(100円)として試行開始。なお、試行対象者は、本会介護支援専門員が担当する利用者を中心に行う。
- ・ 上記とは別に、地区内の助けあい活動として、ゴミ出し支援を無償で行う為、担い手の調整を行う。

(2) 町域におけるゴミ出し試行活動実績

- 実利用者数 4名
- 延べ支援回数 166回

(3) 地区におけるゴミ出し試行活動実績

- 実利用者数 4名

4. 福祉活動員活動の支援

〔1〕福祉活動員協議会活動の支援

(1) 要件

- ・ 各自治会町内会から選出された「福祉活動員」78名で組織する「福祉活動員協議会」の事務局として、福祉活動員の活動支援を行った。
- ・ 定例会を全体研修月以外に7回開催。各地区の福祉活動員の活動状況確認や見守り新鮮情報の回覧依頼、ボランティア活動への協力呼びかけを行った。また、援助活動に役立つ福祉知識や手法の提供を目的としたミニ講座を引き続き開催した。
- ・ 地域包括ケア推進に向け、その主要な立場に有る介護支援専門員と民生委員との意見交換の場を設けた。

(2) 定例会等開催実績

開催日		主な内容等（研修テーマ）
平成27年 4月 9日（木）	新任研修	社協の組織活動と福祉活動員の役割説明
平成27年 4月23日（木）	総会	活動計画・予算の確認 役員を選任
平成27年 5月28日（木）	定例会	民生委員との意見交換（福祉マップ作成等）
平成27年 6月～	実践活動	夏季一斉友愛訪問活動（70歳以上高齢者）
平成27年 6月25日（木）	定例会	福祉レクリエーションと健康体操
平成27年 7月23日（木）	定例会	高齢者の体と病気の特徴について
平成27年 8月27日（木）	定例会	介護支援専門員との意見交換会
平成27年 9月17日（木）	定例会	身近な介護技術
平成27年10月 6日（火）	交流会	グラウンドゴルフを体験しよう！
平成27年10月 7日（水）	視察受入	高知市秦地区社会福祉協議会（高知県）
平成27年11月13日（金）	視察研修	常金丸学区福祉を高める会（広島県）の活動
平成27年12月～	実践活動	年末大掃除活動（75歳以上高齢者世帯等）
平成28年 1月28日（木）	定例会	福祉用具の制度と紹介
平成28年 2月25日（木）	全体研修	「いざという時の救急法」
平成28年 3月17日（木）	定例会	次年度活動計画の協議 引き継ぎ内容確認等

5. 地区福祉活動の推進

〔1〕 高齢者給食サービス活動の推進

(1) 要件

- ・ 独居や高齢者世帯、障がい者等を対象として、給食ボランティアグループがバランスのとれた食事とふれあい交流の場を提供する。
- ・ 食材費等の助成や、活動を支援するためのアドバイスを行う。
- ・ 倉敷保健所の協力を得て研修会の実施や、食品衛生管理指導（チェック表の運用、衛生用品の支給）を継続して行う。

(2) 活動実績

団体名	利用者数	提供者数	延実施回数	延利用者数	延提供者数
クローバー	9	5	21	171	90
コスモス	22	10	22	418	194
スプリング	25	10	20	415	177
たんぽぽ	17	9	11	143	94
マスカット	14	6	11	131	62
ひまわり会	28	11	11	262	114
スマイル若宮	27	32	22	498	226
市場撫子の会	26	9	11	268	90
合計：8団体	168	92	129	2,306	1,047

(3) 連絡会等開催実績

◇視察受入れ

連絡会名	食事ボランティア交流会（浅口市）
開催年月日	平成27年 6月24日（水）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	16名（6グループ）
内容	<ul style="list-style-type: none"> 活動紹介 「早島町高齢者給食サービス事業の実施状況について」 「浅口市食事ボランティア『えびろん』の活動状況について」 情報・意見交換

◇第1回連絡会

連絡会名	給食ボランティア連絡協議会（食品衛生研修）
開催年月日	平成27年 8月31日（月）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	22名（8グループ）
内容	<ul style="list-style-type: none"> 「食中毒の予防と腸内菌について」 岡山ヤクルト販売株式会社 渡代 伸子 氏 意見交換（事前アンケートの集約結果報告） 「介護予防・日常生活支援総合支援事業について」 早島町役場 健康福祉課課長 本郷 康宏 氏 課長補佐 福原 弘子 氏 事務連絡（助成金手続き、衛生用品の配布等について説明）

※その他、平成27年11月24日（火）の「高知県東みよし町ボランティア連絡協議会との視察研修交流会」に13名（5グループ）が参加。

〔2〕ふれあい・いきいきサロン活動の推進

(1) 要件

- ・他者との交流が少なく、家に閉じこもりがちな高齢者等の不安や悩みの解消を図り、気軽にふれあい交流や仲間づくりができる場を提供する活動の支援を行う。
- ・毎月1回開催の場合は2万円/年、隔月開催の場合は1万円/年、奨励金を交付。交付要綱に基づき、18団体に奨励金の交付を行い、活動助言を行う。

(2) サロン活動団体（合計18団体）

サロン名	開催場所	対象地域	延べ利用者数	延べ協力者数	実施回数	活動内容
四つ葉会前湯	前湯公民館	前湯・下前湯	120	132	12	茶話会、季節行事、創作活動、イベント、講話
しゃべろうかい	宮崎公民館	宮崎	137	24	12	茶話会、運動、創作活動
中山ふれあいサロン さつき会	中山集会所	中山	132	25	10	茶話会、運動、創作活動、季節行事、催し
いきいきサロン市場	さつき荘	市場	244	102	11	茶話会、遊び、運動、講話、創作活動、催し等

弁天井戸端契茶	弁才天 公民館	弁才天	112	69	10	茶話会、遊び、季節行事、 創作活動、運動
サロン・ひだまり	備南台 公民館	備南台	507	193	74	茶話会、季節行事、遊び、 小旅行、部会活動等
なしず会	無津公民館	無津	101	4	11	茶話会、季節行事、講話、 運動、奉仕活動
はまぎくの会	個人宅	若宮	37	33	10	茶話会、イベント、創作活 動、食事会、小旅行
日笠山さくら会	日笠山 公民館	日笠山	157	47	6	茶話会、季節行事、催し
喫茶とよく	頓行公民館	頓行	126	64	11	茶話会、遊び、運動、 季節行事、催し等
いきいきサロン三軒地	三軒地 公民館	三軒地	82	31	12	茶話会、創作活動、講話、 イベント等
塩津いきいきサロン	塩津公民館	塩津	211	46	7	季節行事、創作活動、 イベント
サロン市場健康促進の会	床田遊園地 市場公民館	市場	114	51	21	茶話会、運動、講話、遊び
サロン若わか会	大谷荘	若宮	102	42	15	茶話会、運動、創作活動、 講話
いきいきサロン久々原	久々原 公民館	久々原	70	18	6	茶話会、季節行事、講話、 創作活動
片田ふれあいサロン	片田公民館	片田	85	61	12	遊び、講話、催し
喜楽亭	大谷荘	若宮	627	314	10	遊び、運動、講話、軽食契 茶、催し
ふれあいサロン樽島	樽島公民館	樽島	147	128	11	茶話会、体操、講話、遊び
合 計 / 延べ利用者数 3,111人 / 延べ協力者数 1,384人 / 実施回数 261回						

(3) 連絡会（研修会）開催実績

福祉のまちづくりフォーラムを研修会扱いとし、参加を要請。

(4) 奨励金交付実績

330,000円（18団体）

〔3〕夏季一斉友愛訪問活動の実施

(1) 要件

- ・70歳以上の方が居住する世帯及び年齢や同居の有無を問わず声かけが必要な要援護者を対象に、熱中症予防啓発と地域との関係づくりを目的に、民生委員・福祉活動員の協力を得て、全地区一斉の友愛訪問を行う。

(2) 活動実績

◇訪問実施期間

平成27年5月下旬から6月中旬

◇訪問対象者

70歳以上の方：2,286人／28地区

〔4〕年末大掃除おたすけサービスの実施

(1) 要件

- ・75歳以上の高齢者世帯の方、または障がい者世帯の方へおたすけ員を派遣し、年末大掃除の負担軽減を図った。おたすけ員としては、民生委員・福祉活動員・地域のボランティア等多くの住民の方々に広く協力を求めた。

(2) 活動実績

開催年月日	平成27年12月 1日(火) から12月11日(金)
サービス実施世帯数	33世帯(高齢者世帯29件、障がい者4件)
おたすけ員協力者数	49名
おたすけ員協力者 内訳	民生委員7名、福祉活動員27名、とんかち4名、 ボランティア4名、社協職員7名

〔5〕地区福祉活動の支援

(1) 要件

- ・自治会単位の福祉活動推進のあり方の模索を目的に、町内で平均的な人口・世帯規模である片田地区を平成24度にモデル地区指定後、継続して支援。
- ・定着しつつある交流行事を継続し、10組合を「モデル組合」として、最小の地域組織での中心とした地区活動の活性化を図った。
- ・モデル地区として、最終目標である自治会への「福祉部会(地区社協)」の設置に向け、具体的な協議が進んだ。

(2) 活動実績

- ・救急医療情報キットの設置推進(4月)
- ・地区福祉活動検討会(毎月1回)
- ・夏休み子どもサロンの開催(7~8月)
- ・夕涼み会の開催(8月)
- ・新年もちつき会の開催(2月)

6. 福祉啓発(教育)の推進

〔1〕夏のボランティア体験事業

(1) 要件

- ・学生(中学・高校・大学等)や地域住民の方を対象に、町内の福祉(教育)施設やボランティア団体の方々に、体験希望者の受入れの協力をいただき実施。体験終了後に、体験の振り返りを目的とした事後研修会を実施した。

(2) 実施結果

①事前説明会

開催年月日	平成27年 7月 4日(土)
開催場所	早島中学校体育館
内容	①ボランティア体験者のお話 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 4年 山中 健司 さん ②ボランティア体験における心構え・注意事項の説明
参加者	147名 <参加者内訳> 体験希望者125名、受入施設・団体関係者13名、中学校職員7名、社協職員2名

②ボランティア体験期間

体験期間	平成27年7月18日(土) から8月31日(月) ※夏季休暇期間
受入団体	15機関・団体(実受入:11機関・団体数)
協力団体	<p><福祉(教育)施設> 計8機関 早島幼稚園/早島保育園/かんだ保育園/早島児童館/早島町デイサービスセンター/特別養護老人ホーム白砥館/早島町生涯学習課/早島支援学校</p> <p><ボランティア団体> 計3団体 パソボラはやしま/はやしま本だいきの会/はやしま夏祭り実行委員会</p>
体験者数	156名 <体験者内訳> 中学生107名、高校45名、大学生3名、一般1名
体験案内校	11校 <中学校> 早島中学校(計1校) <高等学校> 岡山県立倉敷天城高等学校、岡山県立青陵高等学校、岡山県立倉敷中央高等学校、岡山県立倉敷南高等学校、岡山県立倉敷商業高等学校、私立倉敷翠松高等学校、私立倉敷高等学校、私立ノートルダム清心学園・清心女子高等学校(計8校) <短期大学・大学> 川崎医療福祉大学、中国学園大学・中国短期大学(計2校)

③事後研修会

開催年月日	平成27年8月21日(金)
開催場所	早島中学校体育館
内容	体験の振り返り(グループワーク)
参加者	122名 <参加者内訳> 体験者108名、受入施設・団体関係者6名、中学校職員3名、社協職員5名

〔2〕福祉教育への協力支援

(1)要件

- ・早島小学校から要請を受け、早島支援学校生徒との交流に向け、その導入として4年生を対象に体験教室を実施した。

(2)実施結果

開催年月日	平成27年6月11日(木)
開催場所	早島小学校体育館
内容	車イスの基本操作の認知や体験、当事者の方のお話
参加者	123名 <参加者内訳> 小学4年生113名、身体障がい者福祉協会役員3名、小学校教員4名、社協職員3名

〔3〕コミュニケーション麻雀普及事業

(1) 要件

- ・ 多人数が楽しめる仲間づくりや介護予防活動に役立つ『コミュニケーション麻雀』の普及と新たな地域活動参加者（普及員）発掘を目的に月2回『コミュニケーション麻雀を楽しむ会』（24回・330名参加）を開催した。
- ・ 依頼のあった団体（5団体・87名参加）へ普及員の派遣を行った。
- ・ 倉敷市で活動する『コミコミ麻雀を広める会』と交流、情報交換を行った。

(2) 実施結果

	普及行事名等	参加者数	備考
4月	楽しむ会（2回）	21名	定例会
5月	楽しむ会（2回）	27名	定例会
6月	楽しむ会（2回）	28名	定例会
	日笠山さくら会	26名	ふれあいいきいきサロン
7月	楽しむ会（2回）	34名	定例会
	早島町婦人会	23人	町内団体
8月	楽しむ会（2回）	25名	定例会
	市場健康促進の会	9名	ふれあいいきいきサロン
9月	楽しむ会（2回）	27名	定例会
	ニュー早島いわ会	11名	地区老人クラブ
	早島町婦人会	18名	町内団体
10月	楽しむ会（2回）	35名	定例会
11月	楽しむ会（2回）	28名	定例会
12月	楽しむ会（2回）	27名	定例会
1月	楽しむ会（2回）	22名	定例会
2月	楽しむ会（2回）	27名	定例会
	コミュニケーション麻雀交流会	32名	倉敷市の普及団体
3月	楽しむ会（2回）	29名	定例会

〔4〕障がい者作品展

(1) 要件

- ・ 国が定める「障害者週間（12月3日～9日）」に合わせ、障がい者の方の作品展を開催し、町民に対し、障がい者福祉への理解を深める機会とした。

(2) 実施結果

開催年月日	平成27年12月1日（火）から12月17日（木）
開催場所	早島町地域福祉センター1階ロビー
主催	早島町社会福祉協議会
共催	早島町身体障がい者福祉協会、早島つばさの会、ほのほの会
出展者数	38名（42作品）

〔5〕福祉映画会

(1) 要件

- ・住民協働での個別ケアや福祉活動の活性化へ向けた機運をより高めていく機会として、福祉や介護・医療等の幅広い関連分野をテーマとした映画会を開催した。

(2) 実施結果

開催年月日	平成28年1月23日(土)
開催場所	早島町町民総合会館「ゆるびの舎」文化ホール
主催	早島町社会福祉協議会
共催	早島町
協力団体	早島いぐさ手話サークル、はやしま朗読ボランティア福来朗、早島要約筆記サークル「ぺんしる」、パソボラはやしま、絵手紙ボランティアやまびこ、日曜大工ボランティアとんかち、給食ボランティアクローバー・コスモス・スプリング・たんぽぽ・マスカット・ひまわり会・スマイル若宮・市場無子の会、民生児童委員協議会、福祉活動員協議会、特別非営利活動法人ふれあいネットはやしま、早島町婦人会、早島保護司会、早島町更生保護女性会
映画名	「見えないから見えたもの」(視覚障がい)
観客数	556名(入場整理券490枚、当日発行整理券66枚) アンケート回収数(411名)

7. ボランティア活動の推進

〔1〕ボランティア活動保険

(1) 要件

- ・ボランティア活動する方が安心して活動できるよう、事故やけが、賠償責任等について補償するボランティア活動保険(実施主体: 全国社会福祉協議会、受付窓口: 市町村社協)の加入促進を図る。

(2) 加入者数計: 611名

◇団体加入: 447名(22団体)

◇個人加入: 164名 ※夏のボランティア体験活動者数を含む。

〔2〕福祉ボランティアグループ活動の支援

(1) 要件

- ・福祉ボランティア団体への活動支援と活動費助成を行った。
- ・助成金は、通常の活動費と活動に必要と認められる備品の助成を行った。
- ・『運転ボランティアくるりん』の組織化を行った。

(2) 実施結果

◆活動助成額合計: 178,000円(6団体)

①パソボラはやしま、②早島要約筆記サークル「ぺんしる」、③早島いぐさ手話サークル、④はやしま朗読ボランティア福来朗、⑤絵手紙ボランティアやまびこ、⑥日曜大工ボランティアとんかち

◆福祉教育助成額合計: 3,000円(1団体)

早島いぐさ手話サークル

(3) 視察受入れ

連絡会名	ボランティア連絡協議会視察交流研修会（徳島県東みよし町）
開催年月日	平成27年11月24日（木）
開催場所	早島町中央公民館・多目的教室
参加者	22名（給食ボランティア5グループ、福祉ボランティア2グループ）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動紹介 「早島町内の福祉ボランティアと地域福祉活動について」 「東みよし町ボランティア連絡協議会の活動概要について」 ・情報・意見交換（グループワーク）

〔3〕 ボランティア活動に関する相談・調整

(1) 要件

- ・町内の在宅生活者やボランティア団体、各種機関や組織、団体から要請を受け、年間を通じて、福祉ボランティア等の人材調整を行う。

(2) 調整件数

○個人相談（個人の生活を支援する人材の協力要請）

相談者	依頼事項等	調整内容	調整件数 (延べ活動者数)
高齢者・障がい者世帯	家屋の軽微な修繕	日曜大工ボランティアの派遣調整	26件 (32人)
高齢者・障がい者世帯	移動サービス	運転ボランティアの派遣調整	85件 (89名)
高齢者・障がい者世帯	付き添いサービス	付き添いボランティアの派遣調整	1件 (1名)
合計			112件(122人)

○団体相談（団体や組織活動を支援する人材や作業の協力要請）

相談元（団体）	行事名、依頼事項等	調整内容	調整件数 (延べ活動者数)
早島小学校	授業への協力 (出前車いす体験)	指導及び車いす使用者の参加要請	1件 (6人)
早島中学校	授業への協力 (手話講座)	手話通訳ボランティアの派遣調整	1件 (9人)
県立早島支援学校	授業への協力	朗読ボランティアの派遣調整	11件 (61人)
南岡山医療センター	つくし病棟での本の読み聞かせ	朗読ボランティアの派遣調整	21件 (54人)
地区サロン活動グループ	通常活動のプログラム・企画協力	ボランティアの派遣調整	18件 (20人)
地区給食ボランティアグループ	団体名簿・歌詞本の作成協力	事務印刷作業	2件
福祉当事者グループ	講座企画運営協力 (出前車いす・介助体験)	企画運営調整及び講師派遣	1件 (3人)
	通常活動のプログラム企画協力	ボランティアの派遣調整	1件 (3人)
合計			56件(156人)

※本会デイサービスセンターが調整をした件数は除く。通所介護事業（P.27）参照。

8. 福祉団体活動の支援

〔1〕福祉当事者団体の支援

(1) 要件

- ・当事者団体への活動支援と活動費助成を行った。

(2) 実施結果

- ◆活動助成額合計：424,328円（3団体）
 - ①早島町身体障がい者福祉協会、②早島つばさの会（知的障がい者の親の会）、③ブロンズクラブ（独居高齢者の会）
- ◆福祉教育助成額合計：3,000円（1団体）
 - ①早島町身体障がい者福祉協会

〔2〕福祉団体の支援

(1) 要件

- ・福祉団体への活動支援と活動費助成を行った。

(2) 実施結果

- ◆活動助成額合計：172,000円（2団体）
 - ①早島保護司会、②早島町更生保護女性会

9. 在宅介護支援事業

〔1〕介護職員初任者研修の開催

(1) 要件

- ・高齢者の多様化するニーズに対応した質の高い在宅介護を推進するため、町民一人ひとりが介護に必要な知識と技能を習得し、地域福祉の担い手を養成するため、町内在住・在勤者を対象に、「岡山県訪問介護員養成研修指定要綱」による介護職員初任者研修のカリキュラムに基づき、通信制により実施した。

(2) 研修期間

平成27年 6月14日（日）～10月25日（日）／研修時間数130時間

開催日	内容	時間
平成27年 6月14日（日）	受付・開講式	※1時間
	多様なサービスの理解 介護職の仕事内容や働く現場の理解	6時間
6月21日（日）	人間と尊厳を支える介護 自立に向けた介護	1.5時間
	介護職の役割、専門性と他職種との連携 介護職の職業倫理	3時間
	介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護職の安全	
	介護保険制度 医療との連携とリハビリテーション	1.5時間
6月28日（日）	障がい者自立支援制度およびその他制度 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3時間
	高齢者と健康 障がい者の基礎的理解	1.5時間
	障がいの医学的側面、生活障がい・心理・行動の特徴、かか	

	わり支援等の基礎的理解 家族の心理 かかわり支援の理解	
7月 5日 (日)	介護におけるコミュニケーション 介護におけるチームのコミュニケーション	3時間
	認知症を取り巻く状況 医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 家族への支援	3時間
7月12日 (日)	介護の基本的な考え方 介護に関するところのしくみの基礎的理解	7時間
	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
7月19日 (日)	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間
7月26日 (日)	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間
8月 2日 (日)	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間
8月 9日 (日)	入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間
8月23日 (日)	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間
8月30日 (日)	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間
9月 6日 (日)	死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	7時間
	介護課程の基礎的理解	
9月13日 (日)	総合生活支援技術演習 (実技テスト)	7時間
9月14日 (月) から 10月 9日 (金)	施設実習	4時間
10月 3日 (土)	自主学習	※3時間
10月11日 (日)	筆記試験	※1時間
10月25日 (日)	修了式、意見交換会	※2時間
合 計		89.5時間

※上記以外に、自宅通言学習40.5時間 (レポート数15本)。

※「※」の時間数については、要綱に規定する研修時間数に含まない。

- (3) 実習先
早島町デイサービスセンター、早島町ホームヘルパーステーション
- (4) 委託先
NPO法人ウェル福祉学習センター
- (5) 修了者数
5名 ※内町内在住・在勤4名、町外1名

〔2〕介護用具貸出サービスの実施

- (1) 要件
- ・介護が必要な状態にある方への介護用具の貸し出しを行う。介護認定を受け、介護保険サービス内で利用できる方は、対象外とする。
 - ・例年どおり旅行等の一時的な外出、受診目的での車イスの短期貸出が多かった。また、病院や施設からの一時帰宅時のポータブルトイレの貸与件数が大幅に増加した。

(2) 利用実績

①実利用者数

40名

②貸出品目と件数

介護用具名	貸出件数
車いす	69件
スロープ	4件
ポータブルトイレ	26件
歩行器	2件
シルバーカー	2件
点滴スタンド	1件
シャワーベンチ	1件

10. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助

〔1〕生活福祉資金貸付

(1) 要件

- ・低所得者世帯の経済的自立や身体障がい者世帯の生活意欲の助長促進及び、在宅福祉、社会参加の促進のために必要な資金を貸付けるために、生活福祉資金貸付事務（実施主体：岡山県社会福祉協議会、受付窓口：市町村社協）を行った。
- ・平成28年3月に総合支援資金借受人（1名）の返済が完済。

(2) 対応実績（平成28年3月31日現在）

貸付資金種類	相談件数	新規貸付	貸付中	償還中
総合支援資金	0	0	0	1
福祉資金	1	0	0	0
教育支援資金	0	0	0	1
不動産担保型生活資金	0	0	0	0
※旧・離職者支援資金	-	-	-	1
合計	1	0	0	3

〔2〕日常生活自立支援事業

(1) 要件

- ・在宅で生活しており、自分の判断で福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を適切に行うことが困難な方をサポートする本事業（実施主体：岡山県社会福祉協議会）の相談業務を行った。

(2) 対応実績（平成28年3月31日現在）

援助区分	相談件数	新規契約	継続援助中	契約解除
認知症高齢者	0	0	0	0

1 1. 地域福祉センターの運営管理

〔1〕施設利用

(1) 要件

- ・町内の地域福祉活動拠点として、福祉関係者を中心にセンター内の施設（4部屋 開放フロア）の貸し出しと管理運営を行った。

(2) 団体利用実績

施設名	利用回数/年	利用人数/年	平均利用人数/回
ボランティア室	79回	526人	6.7人
調理実習室	47回	887人	18.9人
会議室	131回	2,836人	21.6人
プレイルーム	146回	1,871人	12.8人
開放フロア	17回	119人	7.0人

(3) 個人利用実績（プレイルームのみ）

◆延べ利用者数：542人（小学生のみ）

※平成28年1月中旬から3月の間、小学校でインフルエンザ流行の為、開放中止。

〔2〕備品・用具貸出

(1) 要件

- ・町内の地域福祉活動の活性化のため、福祉活動に役立つ備品・用具の貸し出しを行った。

(2) 利用実績

援助区分	合計	福祉関係団体	行政関係団体	その他
レクリエーション用具	29	18	8	3
機材	13	5	7	1
その他	6	2	3	1

Ⅲ. 介護サービス事業

1. 居宅介護支援事業

〔1〕居宅介護支援事業の実施

(1) 要件

- ・利用契約を結んだ要介護状態の方に対し、ご本人やご家族の意思を尊重しながら、介護・保健・医療・福祉サービスを適切に利用することができるよう、個別の居宅サービス計画の作成や事業者等との調整を行った。
- ・サービス利用以外の時間帯にも安心した在宅生活が過ごせるよう、介護保険制度以外にも民生委員・福祉活動員との個別に情報共有を行うとともに、住民による生活支援活動試行への積極的な誘導を図った。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規契約利用者：78件（前年度比+9件）
- ◆年間契約解除利用者：60件（前年度比+6件）
- ◆月間平均請求件数：200件（前年度比+10件）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	件数	収入(円)
4月	190	2,922,970
5月	192	2,943,810
6月	192	2,949,810
7月	205	3,171,270
8月	196	2,990,160
9月	202	3,094,010
10月	205	3,160,600
11月	205	3,150,820
12月	211	3,242,120
1月	205	3,138,160
2月	202	3,098,900
3月	198	3,030,330
合計	2,403	36,892,960

2. 通所介護事業

〔1〕通所介護事業の実施

(1) 要件

- ・通所介護サービスの利用により、介護が必要な高齢者の身心の機能の悪化を防止するとともに、利用者が以前と変わらず自宅で生活でき、趣味活動や人との交流のある生活を維持できるよう支援する。
- ・介護をしている家族の心身の負担を軽減する。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：15人（前年度比+3人）
- ◆年間延べ利用者数：8,179人（前年度比+354人）

(3) 利用状況及び収入の推移（要介護1～5の利用者）

サービス月	開所日数	実利用者数	延利用者数	1日平均利用者数	収入(円)
4月	26	56	642	24.6	5,047,350
5月	26	58	686	26.3	5,403,300
6月	26	57	698	26.8	5,468,200
7月	26	61	732	28.1	5,706,070
8月	26	58	708	27.2	5,527,080
9月	26	58	678	26.0	5,312,120
10月	27	58	722	26.7	5,701,920
11月	25	56	676	27.0	5,396,240
12月	24	61	656	27.3	5,178,230
1月	24	64	641	26.7	5,043,270
2月	25	60	660	26.4	5,441,880
3月	27	60	680	25.1	5,520,110
合計	308	707	8,179	26.5	64,745,770

※1日平均人数は、小数点第2位以下切捨て。

〔2〕介護予防通所介護事業の実施

(1) 要件

- ・介護予防通所介護サービスの利用により、要介護状態になることを予防し、心身ともに自立した生活を維持できるよう支援する。
- ・高齢者を支える家族の生活を支援する。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：3人（前年度比▲2人）
- ◆年間延べ利用者数：1,075人（前年度比▲115人）

(3) 利用状況及び収入の推移（要支援1～2の利用者）

サービス月	開所日数	実利用者数	延利用者数	1日平均利用者数	収入(円)
4月	26	15	94	3.6	463,740
5月	26	14	82	3.1	443,870
6月	26	15	99	3.8	482,150
7月	26	15	100	3.8	482,150
8月	26	15	93	3.5	533,830
9月	26	17	121	4.6	577,120
10月	27	14	105	3.8	480,690
11月	25	14	95	3.8	499,100
12月	24	14	94	3.9	490,680
1月	24	12	70	2.9	422,540
2月	25	11	69	2.7	381,510
3月	27	9	53	1.9	307,700
合計	308	165	1,075	3.4	5,565,080

〔3〕ボランティア協力（受入）

(1) 要件

- ・演芸ボランティアを始め、季節行事や日常的プログラム支援としてボランティア受け入れをし、デイサービスで過ごす時間の充実を図る。
- ・ボランティア受入により、住民と利用者との交流の場としての役割を担う。

(2) 実施結果

団体での新規協力は3団体。

◇ボランティア来館数

月	プログラム提供		行事補助（延べ人数）
	個人活動	団体数	
4月	1人	4団体	花見（2名）
5月	2人	6団体	
6月	1人	7団体	
7月	3人	4団体	夏祭り（25人）
8月	8人	5団体	
9月	4人	12団体	

10月	2人	8団体	
11月	2人	7団体	日帰旅行(5人)
12月	1人	5団体	
1月	2人	5団体	
2月	2人	6団体	餅つき(12人)
3月	1人	6団体	
合計	29人	75団体	(44人)

◇個人ボランティアの活動内容（有償の活動は除く）

活動内容	活動人数
アコーディオン演奏	1名
写真撮影	1名
話し相手	1名
傘踊りとカラオケ	3名
囲碁	1名
季節のイベント補助・利用者の付き添い	複数名

◇団体ボランティアの活動内容（有償の活動団体は除く）

団体名	活動内容（今年度活動回数）
絵手紙ボランティアやまびこ	絵手紙教室の開催(6回)
コーラスフルール	コーラス(1回)
じゃがいもの会	踊りと歌(1回)
多聞会	餅つき大会の物品借用(1回)
ダンディボーイズと歌姫たち・若わか会	コーラスとフラダンス(2回)
つくほ商工会婦人部	交流・マンドリン演奏(1回)
日曜大工ボランティアとんかち	餅つき補助(4日間)
早島オカリナ倶楽部	オカリナ演奏(1回)
ハープ演奏	ハープ演奏(1回)
ピアレス会・美咲会・佐和の会	銭太鼓(1回)
早島鬼面作りの会	節分に鬼装束で来館(1回)
早島日本舞踊子供教室・若竹会	踊り(1回)
フラ・さつき	フラダンス(2回)
フラ・ハラウ・オ・マーブア ◎	フラダンス(1回)
心光寺アロハフラ	フラダンス(1回)
邦楽集団 彩響	三味線と和太鼓演奏(2回)
ほのぼの会	踊りと歌(6回)
はやしま本たいすきの会	朗読会(1回)
ねねの会	三味線演奏と歌(1回)
野の花の会	創作(2回)
舞民踊同好会	踊りと歌(2回)
早島要約筆記サークル 'ぺんしる'	OHPを使った俳句の紹介(12回)
はやしま朗読ボランティア福来朗	対面朗読(11回)
	朗読会(1回)
	行事補助(4日間)

伊つき座	芝居（1回）
四葉劇団 ◎	踊り（1回）
美遊人の会 ◎	大人が楽しむ絵本劇場（1回）
音楽療法研究会	音楽療法（11回）
日本訪問歯科協会 原歯科医院	お口の健康相談会（4日間）

※◎は新規協力団体

3. 訪問介護事業

〔1〕訪問介護事業の実施

（1）要件

- ・要介護状態になっても、利用者の望む暮らしができるよう、訪問により心身の状況に応じた身体介護（入浴、排泄、食事の援助等）や生活援助（調理、掃除、買い物等）、日常生活全般の援助を行った。

（2）利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：28件（昨年度比＋7件）
- ◆年間延べ利用者数：618人（昨年度比＋85人）
- ◆年間延べ訪問回数：7,595回（昨年比1,480回）

（3）利用状況及び収入の推移（要介護1～5の利用者）

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入（円）
4月	47	565	563.43	1,636,000
5月	51	630	617.82	1,965,340
6月	49	670	637.02	1,977,240
7月	52	656	632.37	1,948,470
8月	50	595	563.17	1,803,080
9月	55	644	606.45	1,897,210
10月	55	703	664.82	2,024,890
11月	52	621	601.10	1,917,990
12月	54	632	602.25	1,883,060
1月	54	643	605.58	1,708,080
2月	50	603	546.48	1,969,760
3月	49	633	576.55	1,840,850
合計	618	7,595	6,614.79	22,571,970

〔2〕介護予防訪問介護事業の実施

（1）要件

- ・要支援状態になっても、生活機能の低下や重度化を防ぎ、自分らしい生活が実現できるよう支援を行う。

（2）利用者状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：8件（昨年度比▲3件）
- ◆年間延べ利用者数：310人（昨年度比＋7人）
- ◆年間延べ訪問回数：1,908回（昨年度比▲31回）

(3) 利用状況及び収入の推移（要支援1～2の利用者）

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入(円)
4月	28	157	174.00	555,250
5月	28	169	147.25	546,860
6月	25	169	150.75	493,690
7月	26	165	149.75	493,700
8月	28	172	152.75	573,410
9月	28	171	152.25	546,830
10月	24	157	143.75	483,550
11月	25	155	139.00	518,150
12月	24	145	130.05	505,910
1月	23	133	119.25	464,070
2月	26	159	140.50	546,800
3月	25	156	135.75	505,900
合計	310	1,908	1,735.05	6,234,120

〔3〕障がい者総合支援居宅介護事業の実施

(1) 要件

- ・総合支援法の趣旨に沿って、住み慣れた地域で安心して自立した日常生活ができるよう、障がいの特性・心身の状態に配慮しながら身体介護・家事援助・通院介助等の日常生活全般の援助を行った。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：1件（昨年度比+1件）
- ◆年間延べ利用者数：41人（昨年度比+5人）
- ◆年間延べ訪問回数：734回（昨年度比▲58回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間(時間)					収入(円)
			身体	知的	精神	児童	合計	
4月	3	63	14.5	58.00			72.50	187,130
5月	3	59	16.5	56.00			72.50	185,050
6月	3	63	15.5	57.50			73.00	192,960
7月	3	57	15.0	54.50			69.50	178,250
8月	3	64	20.5	57.00			77.50	204,760
9月	3	63	18.5	55.00			73.50	193,040
10月	3	63	19.0	55.50			74.50	193,130
11月	3	60	16.5	52.75			69.25	180,650
12月	4	58	18.5	51.50	4.00		74.00	184,730
1月	4	61	9.0	48.00	19.50		76.50	178,040
2月	4	60	1.0	54.50	17.50		73.00	186,490
3月	5	63	1.0	58.50	17.50		77.00	191,370
合計	41	734	165.5	658.75	58.50		882.75	2,255,600

〔4〕障がい者移動支援事業（外出支援）の実施

（1）要件

- ・総合支援法の趣旨に沿って、住み慣れた地域で自分らしく生活するために、安全に外出できるよう障がいの特性・心身の状態に配慮しながら移動（外出）支援を行った。

（2）利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：0人（昨年度比▲2人）
- ◆年間延べ利用者数：49人（昨年度比▲7人）
- ◆年間延べ訪問回数：228回（昨年度比▲143回）

（3）利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）					収入（円）
			身体	知的	精神	児童	合計	
4月	5	34	35.5	11.0			46.5	79,750
5月	5	28	28.5	8.0			36.5	62,750
6月	6	25	35.5	1.0			36.5	67,750
7月	5	21	40.0				40.0	73,750
8月	3	4	5.5				5.5	9,750
9月	4	17	19.5				19.5	30,500
10月	4	21	34.0				34.0	46,250
11月	4	17	20.5				20.5	32,500
12月	3	15	18.0				18.0	27,000
1月	3	14	19.0				19.0	30,000
2月	3	14	18.5				18.5	27,750
3月	4	18	25.5				25.5	40,000
合計	49	228	300.0	20.0			320.0	527,750

〔5〕生活支援訪問事業の実施

（1）要件

- ・生活支援を必要とし、役場より生活支援サービス決定された方に、安心して日常生活を営む事が出来るように、その方に必要に家事援助を行った。

（2）利用者状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：0件（昨年度比▲1件）
- ◆年間延べ利用者数：12人（昨年度比+12回）

（3）利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入（円）
4月	1	4	4.0	6,000
5月	1	5	5.0	7,500
6月	1	4	4.0	6,000
7月	1	5	5.0	7,500
8月	1	4	4.0	6,000
9月	1	3	3.0	4,500
10月	1	5	5.0	7,500
11月	1	3	3.0	4,500

12月	1	4	4.0	6,000
1月	1	3	3.0	4,500
2月	1	4	4.0	6,000
3月	1	4	4.0	6,000
合計	12	48	48.0	72,000

〔6〕介護保険外サービス事業の実施

(1) 要件

- ・介護保険制度適用外で、日常生活に援助が必要とする方に、介護保険制度を同様のサービス（家事援助、身体介護）に加え、制度では行えないサービス（見守りを兼ねた話し相手等）を行い、安心して日常生活を営む事が出来るよう援助を行った。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：7件（昨年度比件）
- ◆年間延べ利用者数：58人（昨年度比+13人）
- ◆年間延べ訪問回数：129回（昨年度比+9回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入(円)
4月	3	6	11.5	25,629
5月	2	5	4.5	12,166
6月	3	7	7.5	19,666
7月	4	11	15.5	38,138
8月	7	17	19.5	47,662
9月	4	8	6.5	17,479
10月	4	8	6.5	20,329
11月	5	9	8.0	21,394
12月	6	16	15.0	38,539
1月	7	16	15.0	39,778
2月	7	15	12.0	33,480
3月	6	11	10.0	26,056
合計	58	129	131.5	340,316